

## 第3回 北海道森林管理局国有林材供給調整検討委員会

### ( 概要 )

先般開催した、平成30年度 第3回北海道森林管理局国有林材供給調整検討委員会の概要について、次のとおりお知らせします。

#### 1. 日時

平成30年11月29日（木曜日） 14時00分～16時00分

#### 2. 会場

北海道森林管理局 3階 大会議室

#### 3. 検討結果

国有林材の供給について、調整の必要はないとの意見集約がなされた。

#### 4. 主な意見等

- 原木の在庫は、全道的に不足している。特に、小中径木を主としている工場の不足感は慢性的になっている。
- 原料の不足により、一時的に生産調整を行ったチップ工場もある。
- 本州各地では、スギ・ヒノキ・カラマツともに不足感があり、北海道に合板原料を求めてきている。本州への移出量は、昨年より増えているようだ。
- 中国の木材需要が非常に高く、中国への木材輸出の相談を受けるが、全道で木材不足の中、慎重に対応せざるを得ない状況にある。
- バイオマス発電では、原料の3割ぐらゐを林地未利用材でまかなえるよう集荷に努めており、今後の供給に期待している。

- むかわ・厚真・安平の3町では、9月6日の胆振東部地震により、これらの地域からの原料調達が困難となったが、北海道森林管理局による周辺地域からの木材供給がなされたところであり、このことを含めた支援に感謝している。
  
- 台風による風倒木処理や胆振東部地震の復旧作業により、造材や運材に遅れが生じることを心配している。